

7階ユニット

看護師長 橋本 理恵

1 部門目標

地域周産期母子医療センターとして、信頼される専門性の高い安心安全な看護を提供する

2 業務体制・スタッフ

病棟：一般病床（7：1看護体制）41床 MFICU（3：1看護体制）3床

外来：産科 婦人科 助産師外来

助産師 24名 看護師 15名 看護補助員 2名 看護クランク 1名

3 業務実績

1日平均患者数 25.9日 病床稼働率 59% 平均在院日数 10.3日

昨年に比べ、病床稼働率は5%減 平均在院日数はほぼ変化なし

分娩数 623件

（正常分娩 270件 異常分娩 353件）（経膈分娩 384件、帝王切開 239件）

母体搬送 156件 NICU入院児 231名 婦人科手術数 56件

未受診妊婦 16件（前年度8件）

4 1年間の総括

平成29年度は、「協働」をキーワードに看護実践を行った。他職種との協働では、新生児科と情報共有をするためのシステムを整え、新生児科と合同のベビーキャッチを行えるようになった。また、患者の情報を他職種と共有するための患者カンファレンスを定期的実施するようになった。情報を共有し、急変に対応するのは自分であるという意識と自覚を持って日々の業務にあたった結果、その意識と自覚が係活動でも活かされ、次年度へ向けての問題を考えられるようになった。

5 今後の目標

地域周産期母子医療センターとして、母子の安全を守り、安心できる看護の提供を行っていくことは変わらず重要目標である。助産師・看護師はもちろん、医師や多職種との連携が重要であり、その先にはチーム医療として、病棟が同じ方向を向いて取り組んでいけるようにしていく必要がある。そして、需要のある母子の支援をより重点的に行っていく。